

2019年度事業報告

1. 事業期間

2019年4月1日～2020年3月31日

2. 事業の概要

今夏、アサヒキャンプは67期として7人の新人カウンセラーを得て総勢19人のキャンプカウンセラーと4人のキャンプディレクターで、5つの主催（げんきッズ、わんぱく、ファミリー、YAMA、シニア（大人向け））、1つの共催（のびのび；台風で中止）、3つの協力（森の子、にじいろ、次世代（大人向け））キャンプを実施した。

森の子キャンプの今年のメインは万華鏡づくり。去年は参加者が少なかったが今年は定員を超えた応募があり、にぎやかなキャンプとなった。

げんきッズキャンプは初めてのくつきでの日帰りキャンプ。当初の20名定員から30名に増やして実施した。ユリノキ広場を中心にプログラムを行い大好評であった。

わんぱくキャンプは、今年で3回目。対象を小4までに拡大し、日程をお盆休み終わりにシフトしかつ2泊に延長した。こちらも定員を上回る応募があり21名の参加となった。

にじいろキャンプは、西淀川子どもセンター（以下、センター）より依頼があり、くつきでの夏キャンプに協力したもの。これも初めてのキャンプ。センターからのボランティア参加があるため、アサヒからはグループ担当のカウンセラーは付けず、PDのみ配置し、プログラムや各ポイントでプログラムリーダー的にアサヒスタッフを配置する方式であった。

次世代リーダーズキャンプは、山口県・宇部市 ANAクラウンプラザホテル宇部が開催地。講師陣、スタッフを含めて総勢80名と去年の2倍以上の参加を得て、今年度も大好評のうちに終了し、賛助会員になって頂き、寄付を頂戴することもできた。

ファミリーキャンプは0歳から90歳までの幅広い年齢層で55名の参加（トータルでは79名）があった。キャンプ長に若手OBOG の津村ぶんぶん氏を抜擢した。

シニアキャンプは、今回2回目。昨年同様くつきのとんくう温泉で参加者21名を集めて行った。「シニアもともだち100人作れるかな！」をキャッチコピーに温泉、BBQ、モーニングコーヒータイム、自然散策等の多彩なプログラムで楽しいキャンプとなった。今年からは大阪府キャンプ協会の後援をいただき、永吉会長も参加いただいた。

のびのびキャンプは、9名の参加者が決まり自閉症講習会、プレキャンプも予定通り行ったが台風19号の接近のため涙を吞んで中止となった。

トレーニングキャン・ワークキャンプと並行して年間を通じて行うYAMAキャンプは3回実施（延べ参加人数15名、昨年より減少）した。運営は、62期ゼブラさん、63期えびぞうさん、64期げっぺいさん、にお願いした。例年通りクラフトやお菓子作り、川遊びやハイキングなど子どもたちに寄り添うプログラムを行なった。

3. 会員数と総会

○会員（2020年3月31日現在）

正会員 83名 賛助会員 164名

○総会 日時：2019年5月25日13時15分～ 場所：天満橋 T-GREEN`S
出席者：正会員21名+委任状出席者（正会員）42名 合計63名
/会員総数92名（2019/3/31時点）

[審議事項]

第1号議案 2018年度事業報告・決算報告について

第2号議案 議事録署名人の選出について

[報告事項]

・2019年度事業計画・予算について

4. 理事会

○予算理事会

日時：2019年4月6日

場所：大阪府中央区 南星ビル2階会議室 出席：9名

第1号議案 2019年度アサヒキャンプ事業計画について

第2号議案 2019年度予算案について

第3号議案 議事録署名人 その他について

○決算理事会

日時：2019年5月25日

場所：大阪府中央区 南星ビル2階会議室 出席：13名

第1号議案 2018年度事業報告・決算報告について

第2号議案 2019年度予算修正について

第3号議案 総会について

第4号議案 決算理事会議事録署名人の選出について

○理事会

日時：2019年10月26日

場所：大阪府中央区 南星ビル2階会議室 出席：11名

検討項目1 2019年度夏期事業報告、会計途中報告、会費徴収状況

検討項目2 2019/2020年度年間スケジュール（案）

第1号議案 議事録署名人の選出

その他

○理事検討会

日時：2020年1月18日

場所：大阪府中央区 南星ビル2階会議室 出席：10名

検討項目1 2019年度会計状況報告

検討項目2 会費未収状況

検討項目3 今後のアサヒキャンプ事業計画と課題に関して

検討項目4 キャンプ運営委員会に関して

その他

○キャンプ運営委員会

日時：2020年2月22日

場所：大阪府中央区 南星ビル2階会議室 出席：9名+現役カウンセラー3名

検討項目 各キャンプの決定スケジュール確認、各キャンプ内容と実施予定

招待（助成金使途）に関して

その他

5. 夏／冬／春キャンプ事業

① 森の子キャンプ 「われら夏の思い出つくり隊」(麻生里山センター主催)・協力

8月3日～4日・1泊2日、滋賀県・くつきの森・やまね館

小3～小6 ; 32人(男15人、女17人)(参考;定員30名 参加費¥5,000)

組織:現役Co.;3人、Dir.;2人、St.;7人OBOG、St.;8人(内、厨房2人)、
キャンプ長;なると、GM;竹森大祐

内容:ねらいは、「①自分の知らない自然を見つける。②見つけた自然を仲間と共有する。」

テーマソングは「キャンプだホイ」 麻生里山センターの9回目の主催に協力。初日は名札、旗作り、万華鏡作り、薪割り、飯盒ご飯炊き、カレー作りを体験。初体験の薪割りに苦闘したが、例年通りロケットストーブを使用してカレーはまたたくまに完成。自分たちで炊いた飯盒ご飯とともに夕食会でおいしく食べた。その後は恒例のキャンプファイヤーを楽しみ、自然研修センター周辺でテント泊をした。翌日は、森のひみつ見つけ(万華鏡の素材集め)&川遊びと万華鏡の完成、ラミネータで記念品づくり。万華鏡の思った以上に美しい仕上がりにみなでのぞき合う姿が印象的であった。昼食はチラシずしと名物のとんちゃん焼きを楽しんだ。

今年も気温は高かった。屋内での入退村式、自炊時の日陰確保、ファイヤ中でも給水時間を設けるなど対策を行った。しかし、夜間に風通しの悪いテント内が暑すぎて気分が悪くなるキャンパーがでたため、1グループはロッジ内で寝ることになった。テントの場所、配置、雨よけタープの張り方等に課題が残る。また、キャンパーの中にはホームシックで泣き出す子どもがいたため、Gカウンセラーはその対処に追われるところがあった。

② くつきげんきッズキャンプ 「あばれろ!くつきげんきッズ!」・主催

8月6日・日帰り、滋賀県・くつきの森・自然研修センター

小1～小6 ; 27人(男15人、女12人)、(参加費¥1,500)

組織:現役Co.;3人、Dir.;2人、St.;5人、キャンプ長;竹森大祐、
SCD;なると

内容:ねらいは、「①自然の中で自由に遊び、体を動かす楽しさを知ってもらう。②友達をつくる楽しさに気づき、素敵な夏の思い出を作り、持って帰ってもらう。」 テーマソングは「手のひらを太陽に」 ネイチャキッズキャンプに替えて、挑戦した初のくつきでのデイキャンプ。参加者が応募しやすい日程、対象、参加費、運営にかかる費用面、魅力的なプログラム、そして素早さが要求される撤収等、考慮すべき点は非常に多かった。日程は夏休みの平日、日帰りのため近隣の子どもたち対象、したがって現地集合解散前提、スタッフの交通費削減のため森の子キャンプからの継続泊で対応、食材費用や時間のかかる自炊はあらかじめ限られた時間の中で入退村式、ミニハイク、水遊び、クラフトを行った。またキャンプ初めての子どもに対しては宿泊キャンプに向けた体験キャンプとしての位置づけとし、参加に対する動機づけを行った。実際にげんきッズ+わんぱくキャンプ両方の参加者が3名いる。

受付時に参加費徴収とともに承諾書へのサイン・健康チェックを行い、27名を3グループに分けてカウンセラーと対面。ロッジ周辺での入村式のあとユリノキ広場へ。思う存分遊んだ後にタープ下でお弁当タイム。川での水遊びの時に気に入りの石を持ち帰ってストーンペインティング。退村式もユリノキで行い、そこで解散。日帰りだがテントも張っておくことにより遊び場兼簡単なテント泊体験とした。地元の朽木東小からの招待者がリピーター1名を含め5名。

③ くつきわんぱくキャンプ 「わんぱく探偵団～Egg Lilyを探せ～」・主催

8月16日～18日・2泊3日、滋賀県・くつきの森・自然研修センター
小1～小4；21人（男10人、女11人）、（参加費¥15,000__）

組織：現役Co.；4人、Dir.；2人、St.；9人、OBOG St.；8人（内、厨房5人）、
キャンプ長；なると、SCD；ベガ、GM、竹森大祐

内容：ねらいは、「①積極的に挑戦して、新たな自分を見つける ②お互いのことを知り、みんな
で協力する ③自然に触れ、発見したり楽しみを見つけたりする」 テーマソングは
「アロハ エ コモマイ」 3回目となり、対象を1学年拡大して小4まで、泊数を1
泊→2泊とした。の新しいキャンプ。キャンパーは わんぱく探偵団で秘密の宝物Eg
g L i l yを探し出すという世界観のもと、様々なプログラムにチャレンジした。2
泊であったが、ホームシックにかかる子もなく、体力的にも問題なく乗り切れた。
台風10号接近のため、最後まで実施を迷ったが当日の午前には日本海へ抜けるとの予
報により前々日に開始時間を2時間遅らせて実施することを決定した。前泊に関しても
人数を絞って早い時間に朽木入りし、準備を行った。結局、参加者のキャンセルもなく
台風一過の素晴らしい好天に恵まれた。今年の参加者内訳はOBOG子弟3名、滋賀県
一般参加16名、地元朽木西小からの招待参加2名であった。

④ にじいろキャンプ 「にじいろチャレンジキャンプ～”初めて“をやりまよう！～」・協力

8月23日～25日・2泊3日、滋賀県・くつきの森・自然研修センター

西淀川子どもセンター（以降 センター）の小2～高1・12人（男2人、女9人）、職員とボ
ランティア13人

組織：現役Dir.；2人、St.；13人、OBOG St.；4人（内、厨房3人）、
キャンプ長；竹森大祐、SCD；なると

内容：ねらいは、「①朽木の自然をめいっぱい感じながら、夏の思い出を作る。②非日常の中
で、様々な事にチャレンジする」 テーマソングは「にじいろ」
センターの前主宰でOBOGの西川ケロリさん（21期）より、年初に「野外活動に不
慣れな集団まるごと、特別キャンプ企画してもらえたらありがたい」との依頼があり、
種々調整の結果、新学期開始直前の2泊で協力キャンプとして実施することになった。
これまでに、子どもたちのみ数名をネイチャやわんぱくに招待していたが、団体として
関わるのは初めて。Dir s. とともに事前に3回センターに出向き、打合せを綿密に
おこなうとともに、ボランティアとの顔合わせ、夜に行くこども食堂（いっしょにごは
ん！食べナイト？）にも参加した。当日午前までは大雨であったがそれも回復し、最初
はとまどいがちであった子どもたちも徐々にアサヒスタッフと打ち解け、キャンプ場の
非日常での触れ合いが大阪では見られなかった一面を引き出していた。

⑤ **ファミリーキャンプ「我ら、アサヒキャンプファミリー ～昭和、平成、いざ令和～」**・主催

9月21日～22日・1泊2日、滋賀県・くつきの森・やまね館

OBOG及びNPO会員とそのファミリー 55名（参加費大人¥10,000__）

組織：現役Dir.；2人、St.；17人、

キャンプ長；津村太郎、SCD；ベガ・なると、GM；竹森大祐、事務局；畑寿一郎

内容：ねらいは、「昔を共に振り返り、今を伝え、変わらないアサヒと変わっていくアサヒを見つめる」 テーマソングは「アサヒキャンプの歌」 今回は全体的に小雨模様で入村式、夕食会、ファイヤ、運動会は残念ながら屋内にて行った。事前アンケートで思い出のキャンプ飯を調査し、夕食会では鮭のちゃんちゃん焼き、アサヒ鍋、お好み焼き、カレー、チョレギサラダ をみんなで作り、デザートには巨大どら焼きを楽しんだ。キャンドルファイヤではゲーマーにOBOGも参加し、大変盛り上がる事が出来た。火の体操はリレー方式で2名が行い、厳かな中に伝統を感じることができ喝采を得た。翌日のアサヒ大運動会はロッジのホール内で行った。綱引き三本勝負では力尽きるまで戦い、子どもたちにはメダルが授与された。雨上がりの『ゆりの木』広場で写真撮影を行い、来年の再会を約束して今年も無事に終了した。今年は何と0歳から90歳までの幅広い年齢層の参加。

運営面では、新しく59期の津村ぶんぶん氏にキャンプ長をお願いした。また例年2年目のカウンセラーのみでDir.を立てていたが、今年度より経験値の高いメンバーを入れることにした。

⑥ **次世代リーダーズキャンプ**・(次世代リーダーズキャンプ実行委員会主催)・協力(後援;宇部市)

9月7日～8日・1泊2日、山口県・宇部市 ANAクラウンプラザホテル宇部

受講者60人、(参考；参加費¥54,000__宿泊費含まず)、講師陣入れて総勢80人

組織：実行委員長；竹岡哲朗、事務局；株式会社VALCREATION、事務局長；藤村雄志

内容：新 将命先生、蒲 俊郎弁護士による「リーダーに求められる人間力」「コンプライアンス経営の本質とは何か」についての基調講演の後、山崎前総務省官房総括審議官の「Society 5.0時代の私達」との講演、日本エンタープライズ植田社長の起業についての講演、そして参加者、講演者、地元企業人、宇部市長を交えての懇親会を実施した。

2日目は久保田宇部市長の講演と参加者でのワークショップとグループ発表の後、参加者からの次世代リーダーとしてのコミットメントを発表でまとめとなりました。

参加者は受講者60人、宇部市から久保田市長他10人、地元学生等のスタッフ10人と総勢80人で昨年の2倍以上の参加となりました。

受講者は1部上場企業トップから若手企業家、地元スタートアップ起業家等多士済々の参加で宇部市からの全面的な後援で盛況裏に終わりました。

アサヒキャンプへの支援のお礼と活動状況について幾田理事から説明をしました。

受講者はアサヒキャンプの賛助会員になり収益金の1部を寄付することとしています。

アサヒキャンプの活動を広く企業人に認知いただき、

支援をいただく機会となりました。

⑦ シニアキャンプ・主催(後援:大阪府キャンプ協会)

10月5日～6日・1泊2日、滋賀県・グリーンパークてんくう温泉

アサヒOBOGと一般シニア；21人(男11人、女10人)、(参加費¥15,000)

組織：キャンプ長；竹岡哲朗、PD；小泉正人

内容：昨年に引き続き第2回シニアキャンプを実施した。今年はアサヒシニアキャンプ特製パンダナを作成。「シニアもともだち100人作れるかな！」をキャッチコピーに温泉、BBQ、モーニングコーヒータイム、自然散策等の多彩なプログラムで楽しいキャンプとなった。

「運動会」「理科実験教室」「キャンドルファイヤ」等懐かしいプログラムもあり、笑い声と歌声の絶えないキャンプで、懇親会ではシニアの悩み等真剣な話しも出てきて、大自然の中、すっかりリラックスできたとの参加の皆さんからの声。

参加者は21人で四国松山からも参加いただいた。また、特別ゲストで滋賀県観光商工労働部長の森中さんも家族で来られ、アサヒキャンプの活動について見学してもらった。

今年からは大阪府キャンプ協会の後援もいただき、永吉会長も参加いただいた。

参加者にはアサヒキャンプの賛助会員になってもらい、引き続きアサヒキャンプに支援いただくことになっている。シニアキャンプはキャンパー、スタッフが協力して運営するシステムで準備段階から参加してもらい、みんなで盛り上げていくキャンプとなっている。

来年もまた！との挨拶でグリーンパークを後にした。

⑧ 閉症児キャンプ(のびのびキャンプ)

(大阪府青少年活動財団、関西テレビ青少年育成事業団、アサヒキャンプ共催)・共催

10月12日～13日・1泊2日、奈良県・吉野宮滝自然学校

(プレキャンプ 9/16 14:00～15:30 於：関西テレビ)

小4～中1；8人(男子5人、女子3人)。

組織：アサヒより/PL；1人、PaCo.；4人、St.；8人、

財団より/ML；1人、PaCo. 1人、St. 4人

関テレより/PaCo.；3人、St.；1人

キャンプ長；ベガ、SV；石巻(関テレ)、ACD；松原(財団)、PD；竹森大祐、

MD；西(財団)

内容：本キャンプは自閉症児を対象とし、パーソナルカウンセラーがキャンパーをマンツーマンで支援するものである。今年も予定通り実施するべく、9/16に自閉症講習会、プレキャンプを行ったが、台風19号の接近により10/12当日の早朝より奈良県全域で暴風、大雨警報が発令され中止が決定した。

⑨ YAMAキャンプ・主催

4/27-29、7/13-15、10/19-20、(11/16-17予定)

くつきの森・自然研修センター

5歳～中3；延べ参加者15人

組織：キャンプ長 竹森 大祐、 チーフOBOG ゼブラ、えびぞう、村長、げっぺい

内容：今年度で5年目を迎えた。OBOGチーフは毎年入れ替わり、前年度に卒業したメンバーが加入する。参加者からの評判や運営に問題はなく、ワーキャンに参加してくれるOBOGさんの子弟の受け入れという面でも継続していきたいキャンプである。

参加年齢を5歳以上としており、兄弟で参加の場合、下の子が5歳未満だと参加できないことになり家族全体の参加を見合わせた事例が1件あった。

現役生が担当できないジレンマ（トレキャンを運営しないといけない）やグループリーダーとなるOBOGの人材不足などの問題は常に抱えているが、地元招待とリンクできる可能性があるキャンプであるため、検討は継続していく必要がある。

⑩ SORAウィンターキャンプ(特定非営利活動法人ナック主催)・協力

・なわてユースフェスティバル

12月15日 日帰り、四條畷市立野外活動センター アサヒより3名派遣

・クリスマスキャンプ

12月25日～26日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター アサヒより6名派遣

・お正月キャンプ

1月5日～6日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター アサヒより1名派遣

⑪ イベント【ユリノキまつり】参加（麻生里山センター主催）・参加

5/19 くつきの森・ユリノキ広場 にて

年に一度のおまつりで地域や滋賀県下からいろんな団体、個人が集まって出店があったり、体験コーナーがあったりの楽しい催し。毎年アサヒからカウンセラー数名が参加して子どもたちの為に、ゲーム大会や夏のキャンプの告知を行っている。

6. カウンセラーの養成関係事業

内容：

① 勉強会、研修

場所：大阪市中央区 南星ビル9階、2階会議室

4月7日（日）、4月14日（日）、5月12日（日）、5月26日（日）、
6月23日（日）、6月30日（日）、7月7日（日）、11月10日（日）、
12月14日（土）、1月26日（日）、2月15日（土）

場所：四條畷野外活動センター

3月2～3日（土、日） 実践講習会

② トレーニングキャンプ

場所：滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

4月27～29日、6月8～9日、7月13～15日、10月19～20日

③ ファイナルキャンプ

場所：滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

9月22～23日

7. 参加者募集について

・しがこども体験学校とびわ活ガイドブック

滋賀県の健康医療福祉部子ども・青少年局がweb発行をしている「しがこども体験学校」に本年度も団体登録を行い、わんぱくキャンプとげんきッズキャンプの事業紹介および参加者募集を行った。

また県庁内の横連携で琵琶湖環境部環境政策課が発行している「びわ活ガイドブック」には昨年度より大きく掲載してもらった。こちらの影響が非常に大きく、ガイドブック配布後にすぐ問い合わせ・応募が殺到し、両キャンプともに定員を超えてしまったため、締め切りを前倒しにするとともにやむを得ず抽選とした。

びわ活ガイドブックの配布（6月中旬）と、しがこども体験学校の情報開示時期（7/1）が一致していないため、先着順にできないというジレンマがある。

わんぱくキャンプは21名中OBOG子弟4名、一般参加15名（すべて滋賀県下）、地元招待2名でげんきッズキャンプでは27名中一般参加22名（すべて滋賀県下）、地元招待5名の参加者を得た。

・リピーター対応

昨年のわんぱくキャンプ参加者すべてに早い時期（6月）から日程込みの暫定チラシを送付し、今年度のキャンプ開催をアナウンスした。昨年まで反応はなかったが今年是一般参加でのリピーターが5件あった。今年参加者が急増したこともあり、来年度も継続して行うことでより一層の効果を見込める。

・招待の取り組み

キャンプ場地元

4月に朽木東小表敬訪問、暫定チラシを渡すとともに平瀬校長に協力依頼／快諾。

高島市教育委員会：村田課長、藤樹記念館：富永館長を表敬訪問、暫定チラシ渡す。

6月に朽木東小、高島市教育委員会再訪問。本チラシの配布と生徒さんへの招待働きかけを依頼。

→東小、西小向けに別途招待参加申込書を作成→担任から生徒さんに配布してもらう。

→教育委員会には招待参加の協力依頼はせず、チラシの市内小学校への配布をお願いした。

→結果；げんきッズに東小より5名、わんぱくに西小より2名参加。

滋賀県庁

滋賀県の商工観光労働部森中部長を6月に訪問した。今年のキャンプには直接関連はないが、10月のシニアキャンプに家族連れで視察いただいた。

以上。

2019年度 活動計算書

2019年4月1日 から 2020年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	740,000	
賛助会員受取会費	291,000	1,031,000
2. 受取寄付金		
一般寄付金	342,169	
くつき特別募金	117,000	
ワークキャンブ寄付金	35,794	
次世代リーダーズキャンブ寄付金	166,764	
マーケティング寄付金	83,000	744,727
3. 受取助成金等		
受取助成金	100,000	100,000
4. 事業収益		
ワークキャンブ	313,300	
ファミリーキャンブ	395,016	
YAMAキャンブ	48,400	
わんぱくキャンブ	320,000	
森の子キャンブ	60,000	
SORAキャンブ	13,000	
シニアキャンブ	348,000	
げんきッズキャンブ	40,500	
にじいろキャンブ	184,700	
イベント参加	5,000	1,727,916
5. その他収益		
受取利息	3	
雑収益	108,000	108,003
経常収益計		3,711,646
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
諸謝金	10,000	
人件費計	10,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	984,361	
通信費	36,978	
研修費	6,000	
保険料	67,394	
消耗品費	341,604	
支払手数料	49,896	
施設利用料	779,000	
食糧費	589,904	
被服費	107,666	
印刷製本費	36,963	
招待補助金	100,000	
雑費	1,637	
その他経費計	3,101,403	
事業費計		3,111,403
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	120,000	
人件費計	120,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	68,780	
通信費	131,502	
会議費	100,300	
賃借料	120,000	
消耗品費	180,598	
租税公課	2,100	
事務用品費	20,856	
支払手数料	1,548	
諸会費	15,000	
食糧費	2,226	
印刷製本費	53,713	
社外連絡費	8,208	
雑費	3,770	
その他経費計	708,601	
管理費計		828,601
経常費用計		3,940,004
当期正味財産増減額		△ 228,358
前期繰越正味財産額		1,979,384
次期繰越正味財産額		1,751,026

財産目録
2020年3月31日現在

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	0		
ゆうちょ銀行	989,955		
UFJ銀行	751,827		
未収入金	38,000		
流動資産合計		1,779,782	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,779,782
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,756		
前受金	8,000		
流動負債合計		28,756	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			28,756
正味財産			1,751,026

貸借対照表
2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,741,782		
未収入金	38,000		
流動資産合計		1,779,782	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,779,782
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	20,756		
前受金	8,000		
流動負債合計		28,756	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			28,756
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,979,384	
当期正味財産増減額		△ 228,358	
正味財産合計			1,751,026
負債及び正味財産合計			1,779,782